

# 株式会社 昭和建設とは・・・

## ①会社紹介

社名	株式会社 昭和建設
所在地	【本社】京都市西京区大枝北福西町二丁目29番地3 【南丹営業所】京都府南丹市八木町北屋賀国府34
事業内容	土木一式工事・建築一式工事・その他建設工事全般に付帯する一切の工事
説明	私たちは、「ものづくり」の会社です。 国土の守り手として確かな技術力を発揮し、社会に必要とされる企業を目指しています。 私たちは、皆様が日々過ごす中で、自然災害に強く安心・安全で住みよい街づくりに取り組んでいます。 その中で、会社独自の誠実で高いプライドを掲げ、そういった同じ気持ちを従業員一人一人が心得、各工事現場を慎重かつ丁寧に仕上げてきた結果、多くの方々に評価していただき表彰工事など形として残すことが出来ました。 今後も、国土の守り手としての大きな自覚と誇りを持ち、SDGsの取り組みや社会貢献活動などの社会的責任も果たしてまいります。

## ②災害ボランティアと災害対策

活動内容	近年多発する地震や豪雨による被災地において、災害支援ボランティアに参加しています。 被災地では、建設会社ならではの強みを最大限に発揮しインフラ整備や、瓦礫処理など、被災地のいち早い復興を支援しています。 また、自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業の継続そして社会の早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などBCP(事業継続計画)を遂行しています。
------	--

災害  
ボランティア

ボランティア活動一覧
平成23年度 東日本大震災（岩手県陸前高田市）
平成25年度 台風18号（京都市左京区久多地内）
平成26年度 8月豪雨（京都府福知山市）
平成27年度 9月関東・東北豪雨（茨城県常総市）
平成28年度 熊本地震（熊本県阿蘇郡西原村）
平成28年度 鳥取県中部地震（鳥取県倉吉市）
平成30年度 7月豪雨（京都府綾部市）

# S N S 活動もしています

ビジョンに掲げた『ものづくりの重要性・楽しさを次世代へ繋ぎ、皆様の暮らしが豊で持続可能なものにする』と担い手不足を解消するため活動内容を一人でも多くの人に知ってもらうために掲載しております。



昭和建設 京都 で 検 索

- ◆Homepage <https://showa0912.co.jp/>
- ◆YouTube <http://youtube.com/channel/UC0MPNohEsfuzgstPKdRBO5g>
- ◆TikTok <https://www.tiktok.com/@showa0912.co.jp>
- ◆Instagram <https://www.instagram.com/showa0912.co.jp/?hl=ja>
- ◆Facebook <https://www.facebook.com/showa.co.ltd>
- ◆Twitter <https://twitter.com/showa912>
- ◆LINE [showa0912.co.jp](https://showa0912.co.jp)

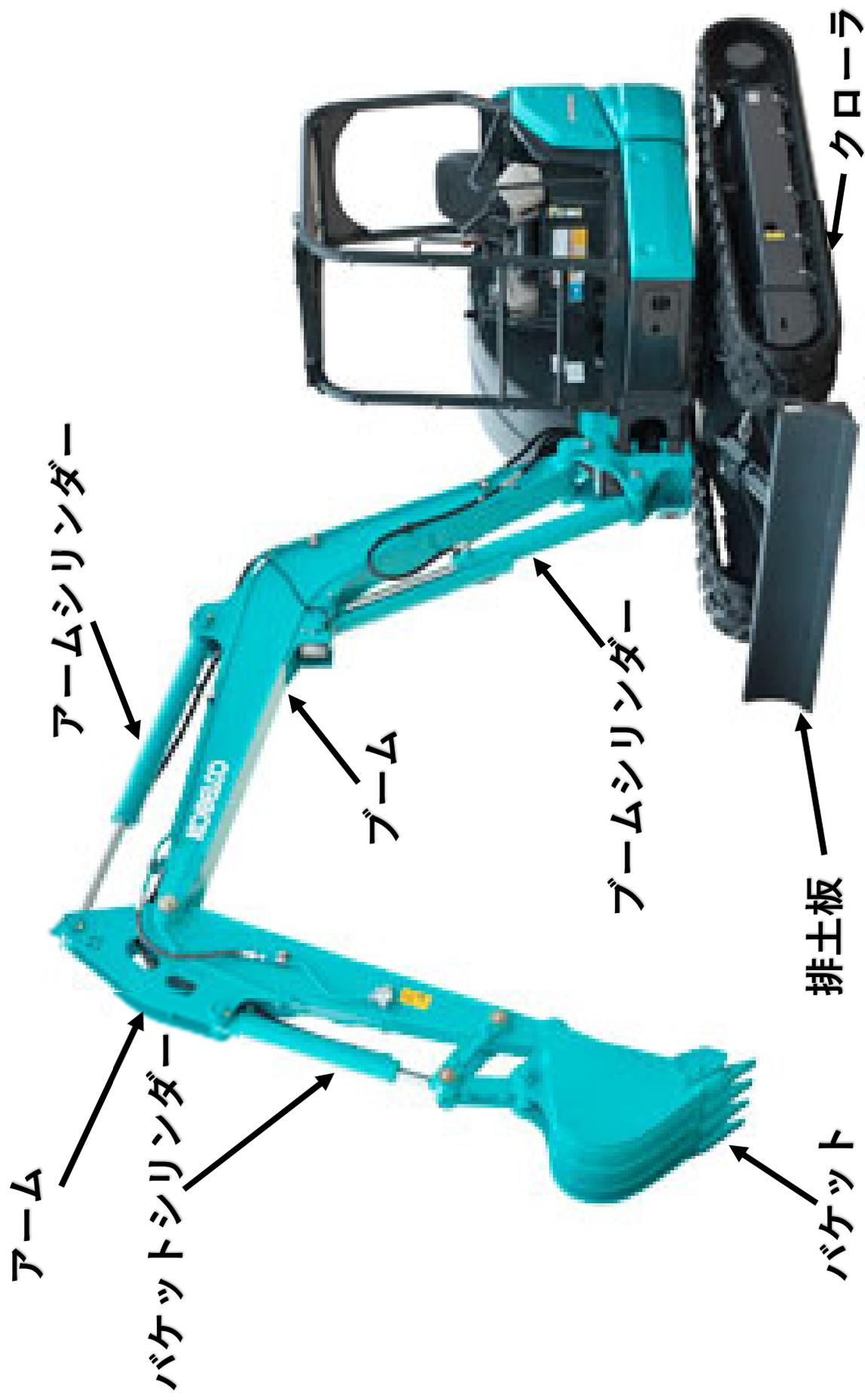
# 重機の取扱いとメンテナンスについて

※重要項目

- ① 始業開始前点検(重機作業は危険作業が伴うから)
- ② 日々のグリスアップ(寿命が延びる)
- ③ 暖機運転後の作業(寿命が延びる)  
目安 : 夏に2分 冬で5分
- ④ 作業後の冷却運転エンジンを冷まし停車  
目安 : 5分
- ⑤ エンジンを停止する際、アクセルをスロー位置に戻す。
- ⑥ 重機の取扱責任者を配置しましょ
- ⑦ 足回りの掃除はこまめにおきましょ



# バックホウ 作業装置 各部名称





---

## ユンボ（バックホー）の寿命を伸ばすためには？日々のメンテナンスと修理について解説

---

ユンボは危険な作業を行うことが多いです。

重大なトラブルを防止し、建設機械の性能を十分に発揮させるためには日常点検が欠かせません。

また、こまめな整備を実施することで機械寿命も大きく延長させることも可能です。

今回は個人で行える日常点検について解説します。

---

### 1.建設機械は特にメンテナンスが必須

---

ユンボ・ミニユンボの標準的な使用年数は5年となっていて、それ以降は故障と修理の回数が増えていきます。

しかし、普段から欠かさず保守点検（メンテナンス）をしていれば、もっと長く活用することが可能です。

特に中古で購入したユンボの場合は劣化・破損が多いので、普段から機械の状態を点検することが事故防止につながるという意識を忘れてはなりません。

---

## 2.点検箇所と各部の役割を合わせて解説

---

ユンボの稼働前と稼働後にはユンボの状態を点検しましょう。

メンテナンスをするときは平な場所を選び、ユンボを点検姿勢で停止させた状態で行ってください。

---

### エンジンオイル・作動油の点検

---

まずエンジンオイルには以下の作用があります。

名称	役割
作動油	動力伝達作用 油圧機器内の摩耗を抑えます。 潤滑作用 芯金から次の芯金までの距離 防錆作用 錆の発生を抑えます。
エンジンオイル	潤滑作用 エンジン内部の摩耗・焼き付きを軽減させます。 シリンダとピストンの僅かな隙間に油膜を貼ること 密封作用 で、

	<p>燃焼によって作られたエネルギーが逃げるのを防ぎます。</p> <p>燃焼・摩擦により高温状態になったエンジンを冷却します。</p> <p>燃焼によって発生したススや酸化物を吸収・分散し、エンジン内部に汚れが溜まるのを防ぎ、燃費・エンジン出力の低下を防止します。</p> <p>エンジン内部を錆から防ぎます。</p>
--	--

エンジンオイル・作動油の量と汚れ、粘土を点検しオイルの状態を確認します。

点検の際はオイルゲージを抜いて、清潔なウエスでオイルを拭いてから再度差し込んで測定してください。

オイルの交換を怠ると、劣化や不純物の混入が原因で出力の低下や内部焼き付きなどを起こしエンジンの故障に繋がります。

その場合オーバーホールや高額な修理費が必要になるかもしれません。

作動油は機械の血液とも言われ、ユンボの使用年数を左右します。

そのためエンジン周りの点検は特に重要です。

---

## ラジエーターの点検

---

ラジエーターの役割は、熱くなりすぎたエンジンの冷却です。冷却水がラジエーターを冷やしてエンジンが高温になるのを抑えています。

エンジンの高温状態が続けばオーバーヒートになってしまうので冷却水も毎回点検してくださいね。

では、冷却水の量が適切か確認しましょう。

液量がラジエータータンクの「FULL」と「LOW」の間なら正常です。

LOW より下の場合は冷却水が不足しているので補充してください。

---

## エアフィルタの点検

---

エアフィルタは人間例えると、血液の不純物を取り除く「腎臓」にあたります。

劣化した潤滑油含まれるスラッジやスス、金属粉といった不純物を取り除き、エンジンや油圧機器の故障を防ぐのがエアフィルタの役割です。

まずは、アウターフィルターを取り外して、エアフィルタが目詰まりを起こしていないか点検します。

整備が必要な際はエアブローで清掃しましょう。

エアブロー時は目詰まりを悪化させないため必ず内側から外側へブローしてください。

エアフィルタが詰まると不完全燃焼を起こし、エンジン出力や燃料バランスの悪化によるエンジン全体の故障に繋がります。

エアフィルタは使い続けていると必ず目詰まりを起こしますので、定期的に交換してください。

---

### 各油圧シリンダーの点検

---

まずは、シリンダー部を観察して油漏れがないか確認してください。

油漏れが発生している場合は不純物が傷やシール部分から油圧回路に侵入し、油圧機器を損傷させてしまう恐れがあります。

シリンダーに傷を発見した場合は、使用を中止し機械を修理に出してください。

---

### 油圧ホースの点検

---

油圧ホースに劣化、亀裂、緩みがないか点検してください。

稼働中にホースが破損すると作動油が飛散し環境汚染等の事故を引き起こしてしまいます。最悪、賠償責任が生じてしまうので、劣化の進んだホースは交換しましょう。

補修テープを備えておくと、ホースが破損して油漏れが発生した際、迅速に応急修理ができるので便利です。

---

## グリスアップ

---

グリスアップには摩擦を抑え、摩耗や焼き付きを防ぐ役割があります。

摩擦が大きくなると、負荷が増えて部品や機械の破損に繋がります。

結果、機械の寿命を縮めていることになるのでグリスアップは大切なのです。加えて、

グリス不足はロックボルトや接続ピンの落下原因にもなるのでしっかり行いましょう。

グリスアップにはグリスガンという工具を用いて行います。

ニップルという箇所にはグリスガンの先端を差し込み注入するのですが、汚れたグリスを

混入させないために、ウエスで拭き取るなどして注入部はきれいな状態にしてからグリ

スアップしましょう。

---

## アタッチメントの点検

---

グリスアップ時に装着しているアタッチメントに亀裂・変形等の不良がないか確認して

ください。

アタッチメントの亀裂の原因は、過大荷重での使用や高負荷作業の繰り返しによる疲労

限界、塩害による腐食などが挙げられます。

亀裂の発生は適切な使用方法とメンテナンスによって防ぐことができます。

---

### 排煙色と排気音の点検

---

暖機運転時には排煙の色と異音がしないかエンジン音を確認しましょう。正常だと排煙は無色透明に近い色をしています。

排煙の色による見分け方は、黒煙だと不完全燃焼。

白煙の場合はすぐ消えれば水蒸気（湯気）ですので問題はありませんが、匂いが伴う白煙が消えない場合は、「オイル上がり」「オイル下がり」と呼ばれる不完全燃焼を起越しているのが主な原因です。

青っぽい排煙はエンジンオイルが燃焼している可能性があります。

---

### ユンボのメンテナンス | まとめ

---

以上が日常的に行うべき点検項目です。

ご説明した通り、徹底された整備は機械の寿命を伸ばすだけでなく、消費燃費の削減にも繋がります。

やはり一番は、整備不良による事故を防ぎ安全を第一に考えた作業を心がけたいですね。



